

■福岡／みやこ町の実施報告

「金融教育公開授業 in 福岡（みやこ町）（みやこ伊良原学園）」（10月3日開催）

みやこ伊良原学園は、みやこ町立伊良原小学校と伊良原中学校が統合し2016年3月に新校舎に移転、同年4月に小中一貫教育校として開校しました。学校教育目標を「自分を待つ明日へジャンプアップ」とし、豊かな自然の中で、少人数や縦割り集団での体験活動、中学校専科による小学校への授業、小学校1年生から中学校3年生までの外国語活動・英語など特色ある授業を行っています。

10月3日（木）に金融教育公開授業を開催し、小・中学校全学級の公開授業、研究発表、弁護士の菊地幸夫氏による講演会を行いました。

▼参加者内訳：

児童生徒27名、開催校教員19名、開催校保護者16名、教育委員会8名、他校教員38名、地域の方々12名、合計120名

1. 公開授業

(1) 「お金はどこからやってくる」（中学校第1学年 学級活動）

消費や貯蓄などの家計に関わる内容を、実感をもって理解するためにマネープランゲームをし、将来設計について考える学習をしました。生徒は、マネープランゲームを通して20歳代と30歳代の人生を疑似体験しました。そこで、結婚、自動車や住居の購入などライフプランを考え、人生はお金が大きく関わっていることや将来設計することの大切さを学びました。



公開授業「お金はどこからやってくる」の模様

(2) 「電流と回路」（中学校第2学年 理科）

身近な電気器具の電力を調べ、電力と使用時間の積から電力量を求める学習をしました。生徒は、家庭の電気料金の明細書から使用電力量で電気料金が決まることを知り、いろいろな電気器具の電力をワットモニターで調べる実験をしました。その際、電源をオフにしても電力が消費されていることに気づき、待機時消費電力があることを学びました。測定した電力と使用時間の積から1日の電力量を求め、さらに、1か月間の電気料金を算出しました。そして、電気料金の節約のために自分ができる省エネルギーの方法を考え、実生活に生かせることを理解しました。



公開授業「電流と回路」の模様

(3) 「ひび割れ壺」(中学校第3学年 道徳科)

自分の長所や短所を受け止め、自分らしく生きるためにはどんなことが必要か考える学習をしました。インドに伝わる話で「自分は迷惑をかけていると恥じていたひび割れ壺が、水くみ人の言葉から自分が役に立っていることに気づかされはっとする」という内容の教材を読み、ひび割れ壺や水くみ人、完璧な壺の気持ちを考えました。次に、自分の短所をお互いにリフレーミングする(短所を長所に言い換える)活動から、短所を受け止めてもらえることのうれしさに気づきました。発表を通じて「短所を受け入れて自分は自分らしく自分のよさを生かしていくことが重要である」とまとめました。自分の個性に気づき、プラスの見方をして自分自身を大切にすることで、よりよく生きていこうとする意欲を高めることができました。



公開授業「ひび割れ壺」の様

(4) 「きいろいベンチ」(小学校第1学年 道徳科)

「公園で遊びに夢中になりベンチを汚してしまった男の子たちが、そこに座った女の子と、女の子の汚れたスカートを拭くおばあさんの言葉や様子から、はっとして顔を見合わせ、自分たちが周りの人の気持ちを考えない行動をとったことに気づく」という内容の教材を読み、ペープサート(紙人形劇)をしながら、男の子の気持ちを考えました。また、どうすればよかったか話し合うことで、公共物や公共の場所の使い方や過ごし方について考え、自分もみんなも気持ちよく生活するために約束やきまりがあることを理解し、しっかり守ってみんなが使う物を大切にしようとする意欲を高めることができました。



公開授業「きいろいベンチ」の様

(5) 「ぼんたとかんた」(小学校第2学年 道徳科)

『かんた』に秘密基地に誘われた『ぼんた』が危ない所には一緒に行かないと自分の考えを伝え、『かんた』も行かないことを決めることができた」という内容の教材を読み、『ぼんた』の気持ちになってペープサートで役割演技を行いました。『ぼんた』の心の葛藤を理解し、自分で行かないと決めて『かんた』にはっきりと断ったことで『かんた』自身も自分で考えることができ、正しい判断ができたことに気づきました。自分の行動を見直し、これからの生活の中でよいことと悪いことを自分で判断し、よいことをすすんでやりぬこうとする態度を育てることができました。



公開授業「ぼんたとかんた」の様

(6) 「ゆめに向かって泳ぐー寺川 綾ー」(小学校第3・4学年 道徳科)

自分の生活を振り返り、目標に向けて何か頑張っていることや継続して何かをやり遂げたことがあるかを考えました。アテネオリンピックでメダルを取れなかった寺川選手の思いと周りの期待の違いに目を向け、この経験を契機に「もっと強くなりたい」と寺川選手の目標が確立したことを理解しました。次に代表に選ばれなかった北京オリンピックの時の気持ちを考えて、自分だったらどうするかを話し合いました。そして、ロンドンオリンピックでメダルを取ることができた寺川選手が苦しい思いを続けながらも、なぜつらい練習に耐え続け夢を実現できたかを考え、自分が目標を決めたこと、そして目標がだんだんと高くなっていったことに気付きました。「すぐにあきらめることが多かったけれど、これからは苦しいことがあってもあきらめずにがんばりたい。」「寺川選手のように、弱音をはかずに目標を達成していきたい。」と自分で決めた目標に向かって強い意志をもって粘り強く取り組むことの大切さに気付き、最後まであきらめずに努力したいという意欲を高めることができました。



公開授業「ゆめに向かって泳ぐー寺川 綾ー」の様

(7) 「青い海を取りもどせ」(小学校第5・6学年 道徳科)

主人公であるダイビングインストラクターの佐藤さんが東日本大震災で被災した海を目の当たりにし「自分にできることはないのか」と、困難の中でも公共のために働いた話を通し、漁師やダイバーの立場や心情を考えながら、働くことは「報酬を得ること」や、「自分のためにする」だけではなく、社会の役に立つものであることに気づくことができ、働くことや社会奉仕することの意義を理解しました。また、佐藤さんから実際に児童へ頂いた手紙から、授業内容を自分事として考えることができ、自分も社会の役に立てるように進んで公共のために働こうとする実践意欲を高めることができました。



公開授業「青い海を取りもどせ」の様

2. 研究発表

2018年度に福岡県金融広報委員会から金銭教育研究校の委嘱を受け、研究主題を「自分の明日に気づき、描き、挑戦する資質・能力の育成」、副主題を「小規模・小中一貫教育の特性を生かした金銭教育の指導を通して」として、金融教育の研究に取り組んできました。自己の将来を見据え、自分の力で乗り切ろうとする生きる力としての「自立する力」と「社会とかかわる力」の育成を目指し、金融教育における4つの分野を取り入れた単元構成の工夫、少人数における学習展開の工夫、地域の「ひと・こと・もの」を生かした体験的な活動を柱として9年間を見通した取り組みを進めてきました。

2年間の成果として、金銭教育を行うことでお金に関する関心が高まり行動が変化した児童・生徒が80%以上いました。また、職員の金銭教育に対する関心意識も高まり、9年間の年間計画を作成、取組ができました。地域の自然・文化・人との関わりが深まり、地域の人の学校への関心も高まりました。



研究発表の様

今後の課題は、金融教育による教科等の教材研究をより進めていくこと、地域の高齢化に備えて体験学習の内容や方法を改善する必要があること、少人数のため多様な人の考えを交流する場が少ないことであると考えています。

3. 講演会

公開授業の後、弁護士の菊地幸夫氏から、「学校では教えない、お金の話」と題する講演が行われました。テレビ番組に出演されている菊地先生の講演ということで、児童・生徒は緊張しているようでしたが、最初に菊地先生は壇上からフロアに降りられて、「将来何になりたいか」という質問から、目の前でトークする形でスタートしました。今はまだ働くことはできない年齢だが、先生が実際に担当されたオレオレ詐欺の裁判例を示して、収入を得るには楽をして稼ぐことは良くないことを教えていただきました。簡単にお金を手に入れるようない話は世の中にはないこと、そんな話には裏があって、いつの間にか犯罪の片棒を担がされ、罪に問われてしまう事例を分かりやすく話していただきました。また、自己破産された方の事例をあげて、お金は「使い方」に気をつけることが大事であり、「欲しいものは買うな、必要なものを買え」と教えていただきました。お金は大事なものだが、お金より大切なものもあることなども児童・生徒に質問を交えながらお話しくださしました。短時間ではありましたが、児童・生徒、大人を対象に、お金という難しい内容を分かりやすく講演していただきました。また、現職の弁護士でありテレビ出演されている菊地先生からユーモアを交えてお話いただいたことで児童・生徒たちも関心を持って聴くことができ、将来の仕事や生き方について考えるうえで役立つようでした。



講演「学校では教えない、お金の話」の様

4. プログラム

13:25～14:10 公開授業

- | | |
|-----------------------|----------------|
| (1) 「お金はどこからやってくる」 | (中・第1学年 学級活動) |
| (2) 「電流と回路」 | (中・第2学年 理科) |
| (3) 「ひび割れ壺」 | (中・第3学年 道徳科) |
| (4) 「きいろいベンチ」 | (小・第1学年 道徳科) |
| (5) 「ぼんたとかんた」 | (小・第2学年 道徳科) |
| (6) 「ゆめに向かって泳ぐー寺川 綾一」 | (小・第3・4学年 道徳科) |
| (7) 「青い海を取りもどせ」 | (小・第5・6学年 道徳科) |

14:25～14:55 開会行事

- | | | | |
|--------|---------------|------|---------|
| ・主催者挨拶 | みやこ町立伊良原小・中学校 | 校長 | 若山 誠一郎 |
| ・来賓挨拶 | みやこ町教育委員会 | 教育長 | 梶口 広二 様 |
| ・研究の概要 | みやこ町立伊良原中学校 | 研究主任 | 片宗 礼子 |

15:00～16:00 講演「学校では教えない、お金の話」

講師 菊地 幸夫 氏

16:00～16:10 閉会挨拶

福岡県金融広報委員会 委員 岩渕 仁志